

(別紙 1)

1) 活動状況の報告

① 利用者数について

月別利用者数

月	R4/ 10	11	12	R5/ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
人数	7	8	11	9	9	7	12	10	11	11	10	10	14

・開所後 1 年の利用者数の目標：15 名

9 月までの平均利用者数は 9.5 人でほぼ横ばいで経過しています。

現時点での総利用者数は 30 名で、7 名の看取りを対応させて頂きました。

また、医療的ケア（吸引、胃ろう等経管栄養）の利用者を 2 名対応しました。

介護度別利用者数（人）

月	R4/ 10	11	12	R5/ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
要介護 1	2	2	2	3	3	2	2	3	4	4	3	3	3
要介護 2	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	2	2	4
要介護 3	2	2	2	1	2	1	2	1	2	2	2	2	3
要介護 4	2	2	5	3	3	3	5	4	3	3	2	2	2
要介護 5	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2
平均 介護度	3.0	3.0	3.6	3.0	2.9	3.1	3.1	2.9	2.6	2.6	2.4	2.6	2.7

・要介護度が高い方は短期間で終了になり、入れ替わりが激しくなっています。

・介護度 1, 2 の方は認知症、独居のケースの依頼が増えています。

上記の状況が、平均介護度が下がっている要因と考えられます。

② 訪問回数について

月別回数（定期・随時）

月	R4/ 10	11	12	R5/ 1	2	3	4	5	6	7	8	9
介護職員	176	313	464	468	439	480	653	527	570	664	404	464
看護職員	20	90	105	121	68	87	73	70	65	71	46	45
合計	196	403	569	589	507	567	726	597	635	735	450	509

緊急コール・随時訪問回数（R4年10月～R5.9月 平均）

随時対応数（コール数）	23回/月
随時訪問数	19回/月

- ・利用者の平均訪問回数は、1日2～4回です。
- ・4月、7月には、夜間の排泄介助も含め1人の方で8回/日訪問するケースがあり、訪問回数が増加しました。
- ・緊急(随時対応)訪問は平均19回で、理由としては本人からの不安の訴え、家族から依頼される安否確認、排泄介助でした。

③ 利用者確保に対する取組み

- ・新規のケアマネジャーさんへは直接会い事業の内容を説明している
- ・あさがお便りの発行と郵送
郵送先：病院, クリニック, 居宅介護支援事業所等
- ・事業所訪問
山梨県立中央病院、山梨大学医学部附属病院の連携室窓口担当の方と面談
市立甲府病院, 梨病院, 韮崎市立病院等へ出向き営業活動を行う。
- ・研修会におけるPR
居宅介護支援事業所の研修会において定期巡回サービスの説明をさせていただく機会を頂いた。

④ グリーフケア

グリーフケアとは・・・家族や友人など、身近な人を亡くした時の深い悲しみ（グリーフ）の、心のケアや回復のサポートをすること

この1年間で、私たちは7名の方のお看取りをさせて頂きました。

大切なご家族とのお別れ。あさがおの利用は終了となりましたが、縁あって、あさがお定期巡回をご利用頂いた残されたご家族に少しでも寄り添いたい。そんな思いからグリーフケアの一環として、新盆の時期にご遺族へお手紙を出させて頂きました。

2) 職員研修の実施状況

内部研修は、職員が交代で研修内容を計画し実施しました。

外部研修は職員に平均的に研修機会を持つようシフトの調整を行いました。

【研修内容】

内部研修…マスク、ガウン、手袋の着脱方法

ポディショニング指導

吸引について

認知症ケア

調理時の衛生管理について

緊急時・急変時の対応と連絡方法

外部研修…虐待防止についての学び

(支援を見つめ直して)

認知症実践者研修

介護職員の介護技術・知識向上研修

(高齢者虐待につながる介護現場の落とし穴)

介護現場におけるリスクマネジメント研修

福祉職場におけるメンタルヘルスマネジメント研修

介護職員の介護技術・知識向上研修

(QOLを高める生活支援の視点)

(障がいのとらえ方と生活支援・ICFを活用して)

(自立支援に向けた基礎介護技術)

3) 新型コロナウイルス感染に対する対応

9月、利用者A様 コロナ陽性

陽性がわかる前に利用者A様の訪問に入っていた職員が2名コロナ陽性となり、中北保健所へ感染報告致しました。

A様は入院対象ではなかったため、一人暮らしでしたが自宅療養されました。そのため、感染対策を実施した上で生活を維持するための訪問を継続しています。

看護師より感染対応についての注意する点を介護職員へ伝え、訪問内容は必要最低限としました。感染が判明した以降の職員の感染拡大はありませんでした。